

派遣前語学訓練

事前学習教材

ヒンディー語

ヒンディー語はインドの連邦公用語です。主にインド中部・北部で使用されています。ヒンディー語を母語とする人は約5億人です。ヒンディー語を第2言語、第3言語として使う人を合わせると、インド国内と近隣諸国(パキスタン、ネパールなど)で約8億人がヒンディー語を理解すると言われてています。

デリーやムンバイなどの都市部では英語が通じますが、郊外に出ると英語が通じない場合が増えてきます。ヒンディー語の基礎を訓練でしっかりと身に付け、任地では可能な限りヒンディー語でコミュニケーションを取ってください。事前学習では、文字の発音・書き方、日常よく使う単語の読み書きなど、訓練の前提となる基本を学習します。

事前学習の方法

すべての文字、単語に音声がついています。音声に合わせて発音の練習をし、併せて書く練習をしてください。

この事前学習資料では、

- 文字の読み書き
 - 日常よく使う単語の読み書き
- を学習します。学習後、付属の「文字練習帳」で書く練習をします（内容は事前学習資料と同じです）。「文字練習帳」は期日までに訓練所に郵送してください。

事前学習では、

- 母音字と子音字の読み方
 - 子音字と母音記号の組み合わせ
 - 単語の読み書き
 - シンプルな文（そのまま覚えて使える文を選んでいきます）
- の順に学習します。

シンプルな文は、現時点では文法について考える必要はまったくありません。そのまま覚え、読み書きだけでなく、言えるように練習を繰り返してください。

訓練はこの事前学習資料の内容をマスターしていることを前提に始まります。スムーズに訓練に入れるようしっかりと学習しておいてください。入所時にこの事前学習の内容をどれだけ習得したかを確認するテストを行います。

1) 母音字と子音字

事前学習ではヒンディー語表記に使用されるデーヴァナーガリー文字の読み方と発音を学習します。

まずは母音字と子音字の発音のコツを説明します。有気音・無気音のペアなど（後述）、ヒンディー語の中ではまったく異なる音として認識される音でも、日本語話者には同じ音に聞こえる音があります。このような音の発音は訓練開始後にしっかりと練習するので事前学習の段階では違いをあまり気にする必要はありませんが、訓練開始までにすべての文字の読み書きができるようにしておいてください。

事前学習資料では、便宜上母音字 11 文字に V01～V11（V は英語で母音を意味する **vowel** の略）、子音字 33 文字に C01～C33（C は英語で子音を意味する **consonant** の略）の番号を振ります。

2) 母音字

「ア」「イ」など伸ばさない音は短母音、「アー」「イー」など伸ばす音は長母音と呼びます。短母音は短く切るように発音し、長母音はしっかりと伸ばしてください。カッコ内のアルファベット(a、ā、i、ī…など)は転写記号(フリガナのようなもの)です。この転写記号を覚えていることを前提として訓練を始めるので、文字と一緒に必ず覚えてください。

●V01

अ ङ ञ ण अ

(a)「ア」。口をあまり大きく開けずに発音します。10回書く練習をしてください(以下同じ)。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V02

आ अ आ आ

(ā)「アー」。अ よりも大きく口を開け、喉の奥から発音します。単に अ を伸ばせば आ になるわけではありません。आ のほうが अ よりも口を大きく開け、喉の奥から発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V03

इ ऋ ऌ इ

(i)「イ」。日本語の「イ」より唇を左右に張る短母音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V04



(i) 「イー」。イよりもさらに唇を左右に張ります。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V05



(u) 「ウ」。日本語の「ウ」よりも少し唇を尖らせる短母音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V06



(ū) 「ウー」。ウをより唇を尖らせて伸ばす長母音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V07

ऋ ँ ऌ ऍ

(Ri) 英語 rich などの「リ」の音です。母音扱いされます。サンスクリット語からの借用語にのみ用いられます。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V08

ए ऐ

(ē) 「エー」。伸ばして発音してください。日本語のエよりもさらに唇を左右に張って出す長母音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V09

ऐ

(ai) 「アエー」。日本語の「エー」に近い口の形で、喉の奥から V01ॐ を出すイメージです。V08 ए と区別するためにカタカナではあえて「アエー」と表記しますが、カタカナ表記通りに「ア」「エー」と2音節にならないよう注意してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V10

ओ आ औ औ

(ō)「オー」。伸ばしてください。日本語の「オ」よりももっと唇を丸めるように発音する長母音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●V11

औ औ औ औ

(au)「アオー」。喉の奥から「オー」と発音します。伸ばしてください。V10 **ओ** と区別するためにカタカナではあえて「アオー」と表記していますが、カタカナ表記通りに「ア」「オー」と2音節にならないよう注意してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3) 子音字

子音字を学習する前に、無気音・有気音、無声音・有声音の説明をします。

無気音と有気音

ヒンディー語では、息を止めながら発音する無気音と、喉を開き「ハッ」という呼気と一緒に発音する有気音があります。息を止めながら発音する無気音の「カ」と呼気と一緒に発音する有気音の「カ」を日本語では区別しませんが、ヒンディー語話者はこれらをまったく違う音として認識します。

有気音の「カ」を発音するときに「カ」を発音した後に呼気の「ハッ」を後付けするのは間違いです。これは「カ」以外のすべての子音にあてはまります。

無声音と有声音

無声音は「カ」「サ」「タ」など、日本語でいう濁点「^ん」がない音、有声音は「ガ」「ザ」「ダ」など濁点がある音です。「カ」と「ガ」を発音する場合、口の形はまったく同じです。「カ」は声帯を振動させず、「ガ」は声帯を振動させます。

<カ行>

●C01

क G q q̄ क̄

(ka) 無気音の「カ」。息を止めるつもりで、できるだけ喉から空気がもれないように発音します。

※子音字は 1)単独で書かれる場合と 2)語頭にくる場合、V01の「अ (a)」の音を含んでいます。これを潜在母音と呼びます。潜在母音については訓練開始後に学習します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C02

ख 𑂗 𑂗̄ 𑂗̄̄ 𑂗̄̄̄

(k^ha) 有気音の「カ」。喉の奥を開き、C01 क と「ハッ」という呼気を同時に出します。

※ C01 क を発音した後に「ハ」を発音し、2音節の「カ」+「ハ」となるのは間違いです。これはすべての有気音に共通する注意事項です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C03

ग ळ ळ↓ ग→

(ga) 無気音の「ガ」。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C04

घ ळ ळ↓ घ→

(g^ha) 有気音の「ガ」。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C05

ङ ङ ङ ङ

(ṅa) カ行 (「ア」以外の母音を伴う場合も含む) の鼻子音です。日本語の「サンカ (参加)」「マンガ (漫画)」など、直前にカ行の音が続く場合の「ン」です。現代のヒンディー語ではこの文字が使われることはほとんどありません。

※ C01～C05 の発音時の口の形と動きはまったく同じです。違いは声帯を震わせるかどうか、強い呼気と一緒に発音するか、口からではなく鼻から息を出すかだけです。

※チャ行、タ行 (反り舌音)、タ行、パ行にもその行専用の鼻子音があります。パ行の鼻子音は「マ」になります。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<チャ行>

●C06

च → च च च

(ca) 無気音の「チャ」。息を止めるつもりで、できるだけ喉から空気がもれないように「チャ」と発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C07

छ ↓ छ छ

(ch'a) 有気音の「チャ」。喉の奥を開き、C06 चと「ハッ」という呼気を同時にします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C08

ज छ ज ज

(ja) 無気音の「ジャ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C09

झ छ छ झ

(j^ha) 有気音の「ジャ」です。喉の奥を開き、C08 जと「ハッ」という呼気を同時にします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C10

ञ ञ ण न्

(ña) チャ行の鼻子音。「ニンジャ (忍者)」「ウーロンチャ (烏龍茶)」など、「ン」の音に「チャ行」の音が続く場合の「ン」です。C06～C09の口の形で息を鼻から出します。チャ行専用の「ン」の音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<タ行 (反り舌音) >

舌の先端を上顎の^{うわあご}歯茎^{はぐき}に近い硬い部分に付け、舌を弾いて出します。日本語にはない音なので練習が必要です。反り舌音にも無気音・有気音、無声音・有声音があります。

●C11

ट ट

(ta) 反り舌・無気音の「タ」です。舌を反らせ、できるだけ喉から空気もれないように鋭く「タ」と発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C12

ठ ङ ठ

(ʈʱa) 反り舌、有気音の「タ」です。喉の奥を開き、C11 ㄊ と「ハッ」という呼気を同時に出します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C13

ड ढ ड़

(ɖa) 反り舌、無気音の「ダ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C14

ढ ॢ ॣ ।

(ɖʱa) 反り舌、有気音の「ダ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C15

ण ष ष् ण

(ṇa) 反り舌音「タ行」の鼻子音。舌を反らせ、舌が上顎についた状態で「ナ」を発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<タ行>

●C16

त ष ष् त

(ta) 無気音の「タ」です。息を止めるつもりで、できるだけ喉から空気がもれないように「タ」と発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C17

थ ॡ थ थु थु

(t^ha) 有気音の「タ」です。喉の奥を開き、C16 त と「ハッ」という呼気を同時にします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C18

द ॢ द द

(da) 無気音の「ダ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C19

ध ॢ ध धु धु

(d^ha) 有気音の「ダ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C20

न ण ञ ण न

(na) 「タ行」の鼻子音。C16～C19の口の形で息を鼻から出します。日本語の「ナ」とほぼ同じ発音です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<パ行>

●C21

प ण ण प

(pa) 無気音の「パ」です。息を止めるつもりでできるだけ喉から空気もれないように「パ」と発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C22

फ ५ ५२ फ़

(p^ha) 有気音の「パ」です。喉の奥を開き、C21 प と「ハッ」という呼気を同時に出します。インド人の中にはこの文字を「fa(ファ)」と発音する人がいます。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C23

ब ७ ७३ ब़

(ba) 無気音の「バ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C24

भ ९ ९४ भ़

(b^ha) 有気音の「バ」です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C25

म ऽ ऽ ऽ म

(ma) 「マ行」の鼻子音。C21 ~C24 の口の形で息を鼻から出します。日本語の「マ」の要領です。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<半母音 ヤ、ラ、ワ行>

●C26

य ऽ ऽ य

(ya) 「ヤ」。ईのように唇を左右に張った状態から「イヤ」と発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C27

र ऽ ऽ र

(ra) 「ラ」。英語の R の音に近い「ラ」です。話者によっては巻き舌になる場合があります。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C28

ल ङ ॠ ॡ ॢ ॣ । ॥ ० १ २ ३ ४ ५ ६ ७ ८ ९

(la) 「ラ」。英語の L の音に近い「ラ」です。舌を上の前歯、または前歯の付け根に当てて発音します。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C29

व ङ ॠ ॡ ॢ ॣ । ॥ ० १ २ ३ ४ ५ ६ ७ ८ ९

(wa/va) 「ワ (wa) 」または「ヴァ (va) 」と発音します。単語にこの文字が含まれる場合は w と発音されるのか v と発音されるのかチェックが必要ですが、ヒンディー語話者の多くは w と v の違いを気にしません。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<シャ、サ、ハ行>

●C30

श ष ष श

(śa)「シャ」。英語の ship (船) と発音するときの「sh」の要領です。ネパールなどで使われるヒンディー語ではこの音が C32 स(sa) に変換される場合があります。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C31

ष ष ष ष

(ṣa)「シャ」。本来は反り舌の「シャ」ですが、インドでは現在この子音字を C30श と同じように発音する人が増えてきています。サンスクリット語からの借用語にだけ使われます。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C32

स ↙ ↘ स स

(sa) 「サ」。日本語の「サ」のイメージです。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●C33

ह ँ इ ई ह

(ha) 「ハ」。日本語の「ハ」のイメージです。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4) 母音記号

日本語をローマ字で表記する場合、子音を表す **k** に母音 **a**、**i**、**u**、**e**、**o** をつけることで「**ka**(カ)、**ki**(キ)、**ku**(ク)、**ke**(ケ)、**ko**(コ)」になります。ヒンディー語では子音字に母音字をつけるのではなく、子音字に母音記号をつけて音節を表します。例えば **आ** (**ā**) の母音記号(表参照)は **ा** です (oは任意の子音字を表します)。「**kā** (カー)」と表したい場合は、子音字 **क** に母音字 **आ** をつけるのではなく、**क** に母音記号 **ा** をつけて **का** とします。

母音記号一覧

母音字	अ	आ	इ	ई	उ	ऊ	ऋ	ए	ऐ	ओ	औ
母音記号	なし	ा	ि	ी	ु	ू	ृ	े	ै	ो	ौ
カタカナ表記	ア	アー	イ	イー	ウ	ウー	リ	エー	アエー	オー	アオー
転写記号	a	ā	i	ī	u	ū	Ri	ē	ai	ō	au

子音字 **क** に母音記号をつけるときは、以下のようにします。他の子音字の場合でも同じです。

子音字 **क** と母音記号の組み合わせ

母音字	क	का	कि	की	कु	कू	कृ	के	कै	को	कौ
カタカナ表記	カ	カー	キ	キー	ク	クー	クリ	ケー	カエー	コー	カオー
転写記号	ka	kā	ki	kī	ku	kū	kRi	kē	kai	kō	kau

※子音字が **क** の場合を例に挙げましたが、他の子音字でもルールは原則変わりません。子音字 **र** に母音記号 **ृ** , **ू** を付けるときは **रृ**, **रू** と書いてください。

C01~C33 の子音字はすべて **अ (a)** の音を含んでいました。例：**क (ka)**、**च (ca)** など。このように、

- 子音字が単独で書かれているとき
- 単語の語頭の子音字に母音記号が付いていないとき

—には、子音字は母音 **अ (a)** と一緒に発音します。これは大切なルールなので必ず覚えてください。

次ページの表は母音字と子音字の組み合わせの一覧表です。母音記号 **ऋ (Ri)** は省略しています。すべての音の音声が入録されているので、音声を聴きながら書く練習をしてください。左のグレーの行が **अ** 行、**क** 行、**ख** 行...を表します。

子音字と母音記号の組み合わせ

	◌	◌ा	◌ि	◌ी	◌ु	◌ू	◌े	◌ै	◌ो	◌ौ
		(ā)	(i)	(ī)	(u)	(ū)	(ē)	(ai)	(ō)	(au)
अ(a)	अ	आ	इ	ई	उ	ऊ	ए	ऐ	ओ	औ
क(ka)	क	का	कि	की	कु	कू	के	कै	को	कौ
ख(k ^h a)	ख	खा	खि	खी	खु	खू	खे	खै	खो	खौ
ग(ga)	ग	गा	गि	गी	गु	गू	गे	गै	गो	गौ
घ(g ^h a)	घ	घा	घि	घी	घु	घू	घे	घै	घो	घौ
ङ(ṅa)	ङ									
च(ca)	च	चा	चि	ची	चु	चू	चे	चै	चो	चौ
छ(c ^h a)	छ	छा	छि	छी	छु	छू	छे	छै	छो	छौ
ज(ja)	ज	जा	जि	जी	जु	जू	जे	जै	जो	जौ
झ(j ^h a)	झ	झा	झि	झी	झु	झू	झे	झै	झो	झौ
ञ(ñā)	ञ									
ट(ṭa)	ट	टा	टि	टी	टु	टू	टे	टै	टो	टौ
ठ(ṭha)	ठ	ठा	ठि	ठी	ठु	ठू	ठे	ठै	ठो	ठौ
ड(ḍa)	ड	डा	डि	डी	डु	डू	डे	डै	डो	डौ
ढ(ḍ ^h a)	ढ	ढा	ढि	ढी	ढु	ढू	ढे	ढै	ढो	ढौ
ण(ṇa)	ण	णा	णि	णी	णु	णू	णे	णै	णो	णौ

त(ta)	त	ता	ति	ती	तु	तू	ते	तै	तो	तौ
थ(th'a)	थ	था	थि	थी	थु	थू	थे	थै	थो	थौ
द(da)	द	दा	दि	दी	दु	दू	दे	दै	दो	दौ
ध(d ^h a)	ध	धा	धि	धी	धु	धू	धे	धै	धो	धौ
न(na)	न	ना	नि	नी	नु	नू	ने	नै	नौ	नौ
प(pa)	प	पा	पि	पी	पु	पू	पे	पै	पो	पौ
फ(p ^h a)	फ	फा	फि	फी	फु	फू	फे	फै	फो	फौ
ब(ba)	ब	बा	बि	बी	बु	बू	बे	बै	बो	बौ
भ(b ^h a)	भ	भा	भि	भी	भु	भू	भे	भै	भो	भौ
म(ma)	म	मा	मि	मी	मु	मू	मे	मै	मो	मौ
य(ya)	य	या	यि	यी	यु	यू	ये	यै	यो	यौ
र(ra)	र	रा	रि	री	रु	रू	रे	रै	रो	रौ
ल(la)	ल	ला	लि	ली	लु	लू	ले	लै	लो	लौ
व(wa/va)	व	वा	वि	वी	वु	वू	वे	वै	वो	वौ
श(śa)	श	शा	शि	शी	शु	शू	शे	शै	शो	शौ
ष(ṣa)	ष	षा	षि	षी	षु	षू	षे	षै	षो	षौ
स(sa)	स	सा	सि	सी	सु	सू	से	सै	सो	सौ
ह(ha)	ह	हा	हि	ही	हु	हू	हे	है	हो	हौ

※C05ड、C10ञ は現代のヒンディー語ではほぼ使用されないので、母音記号との組み合わせを練習する必要はありません。しかし文字単体(母音記号なし)の読み書きはできるようにしておいてください。

5) 単語を書く練習です。

以下の例を見てください。単語を書くときは一つひとつの文字を続けて書き、文字の上にある線をつなげます。

例: 単語 थोड़ा (tʰōrā, [副]少し)を書く場合。

थ → थो → थोड़ → थोड़ा → थोड़ा

それではデーヴァナーガリー文字を使い、日本の地名やヒンディー語の単語を書く練習をします。発音しながら 8 回書いてください。※印が付いている単語は日本の地名、他はヒンディー語の単語です。

※**नारा** (nārā, [地名] 奈良)

※**ओसाका** (ōsākā, [地名] 大阪)

रोटी (rōṭī, インドの薄焼きパン)

मूली (mūlī, 大根)

आलू (ālū, ジャガイモ)

6) 数字など、日常的に使う単語を覚えましょう。

एक (ēk [数詞]1)

दो (dō, [数詞]2)

तीन (tīn, [数詞]3)

चार (cār, [数詞]4)

पाँच (pānc, [数詞]5)

पा の上にある記号 (ँ) は、पा を鼻から出すという意味の記号です。ヒンディー語ではこのような記号がいくつかありますが、詳細は訓練でしっかりと学習します。

छह (c^heh, [数詞]6)

सात (sāt, [数詞]7)

आठ (āṭh, [数詞]8)

नौ (nau, [数詞]9)

दस (das, [数詞]10)

〈朝・昼・夕方・夜〉

※[男]は男性名詞、[女]は女性名詞を表します。事前学習では名詞の文法性を気にする必要はありません。

सुबह (subah, [女]朝)

दोपहर (dōpeher, [女]昼)

शाम (śām, [女]夕方)

रात (rāt, [女]夜)

<曜日>

रविवार (raviwār, [男]日曜日)

सोमवार (sōmwār, [男]月曜日)

मंगलवार (mangalwār, [男]火曜日)※म 上の記号 (◌ं) はカナ

の「ン」と同じ働きをします。

बुधवार (bud^hwār, [男]水曜日)

गुरुवार (guruwār, [男]木曜日)

शुक्रवार (śukrawār, [男]金曜日) ※**ऋ** は **क** と **र** の結合文字です。

kra と発音します。このように複数の文字が結合し、1文字のように扱われる文字を結合文字と呼びます(詳細は訓練で学習します)。

शनिवार (śaniwār, [男]土曜日)

<今日、明日、明後日>

आज (āj, [男][副]今日)

कल (kal, [男][副]明日、昨日)

परसों (parsōn, [男][副]明後日、一昨日) ※सो の右の点 (ं) は सो

を鼻から出すという意味の記号です。par と発音し、次に鼻から sō を発音します。

<月の名前(英語ベース)>

जनवरी (janvarī, [男][副]1月)

फरवरी (farwarī, [男][副]2月)※फ़ は fa と発音されることがあり

ます。

मर्च (marc, [男][副]3月)※च の右上のカールは र を表します(詳細は

訓練で学習します)。

अप्रैल (aprail, [男][副]4月)※प्र (pra) は प と र の結合文字です。

प्र に母音記号 ै (ai) がつき、prai と発音します。

मई (maī, [男][副]5月)

जून (jūn, [男][副]6月)

जुलाई (julāī, [男][副]7月)

अगस्त (agast, [男][副]8月)※स्त(st)は स と त の結合文字です。

सितंबर (sitambar, [男][副]9月)※**त**の上にある点は日本語のカナ

の「ン」のような働きをします。

अक्तूबर (aktūbar, [男][副]10月)※**क्त**(kta)は**क**と**त**の結合文字で

す。

नवंबर (navambar, [男][副]11月)

दिसंबर (disambar, [男][副]12月)

- 7) 教室内で使う言葉を一つずつ聴き、3回繰り返して言ってから8回書いてください。

नमस्ते। (namastē, 挨拶の言葉。朝、昼、夜、人と会うとき、別れるときに使います)※स्त(sta)は स と त の結合文字です。

आपका क्या नाम है?

(āp ka kyā nām hai? あなたの名前は何か?)※क्य(kya)は क と य の結合文字です。

यह क्या है? (yah kyā hai?, これは何か?)

बैठिए। (baiṭʰiē, 座ってください)

आइए। (āiē, 来てください)

सुनिए। (suniē, 聞いてください)

लिखिए। (likʰiē, 書いてください)

दोहराइए। (dohrāiē, 繰り返してください)

जी हाँ। (jī hāṅ, はい、そうです)※**हा** の上にある記号は、鼻から

हा を出すという意味です。

जी नहीं। (jī nahīṅ, いいえ、ちがいます)※**ही** の上にある記号は

鼻から **ही** を出すという意味です。
